



静小だより

みがきかがやく静小の子ども

「知」 よく考える子
「徳」 思いやりのある子
「体」 たくましい子

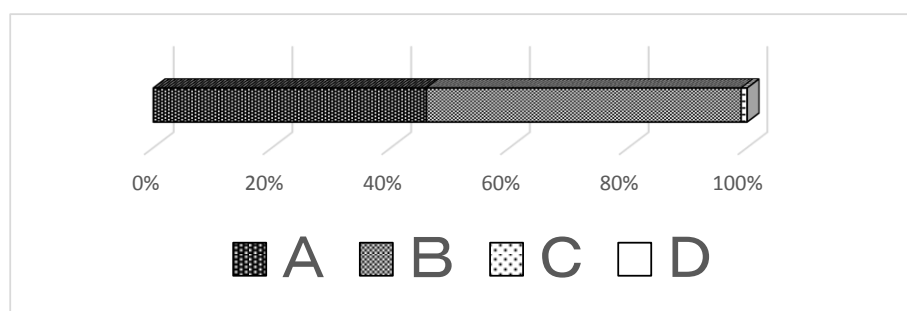
「学校」「家庭」「地域」 すべての場で 健全な子どもの育成を めざしましょう。

保護者アンケートA【全校の教育活動に関わる事項】集約結果

各家庭からご回答いただいた「保護者アンケートA」の集約結果となります。皆様のご回答をもとに、本校の教育活動の改善等を図ってまいります。改善すべきところはしっかりと改善する姿勢で取り組んでいきたいと考えております。

なお、欄外に記述していただいた内容につきましては、学校全体の課題としてとらえ改善を図る面から、学級名等を特定できる内容を削除及び修正させていただきます。職員間、特に担任への周知と指導については確実に行いますので、この点についてご理解をお願いします。

【設問1】児童の笑顔・元気・やる気のある学校である。



○評価内訳

- 【A】 55家庭 (46%)
- 【B】 64家庭 (53%)
- 【C】 1家庭 (1%)
- 【D】 0家庭 (0%)

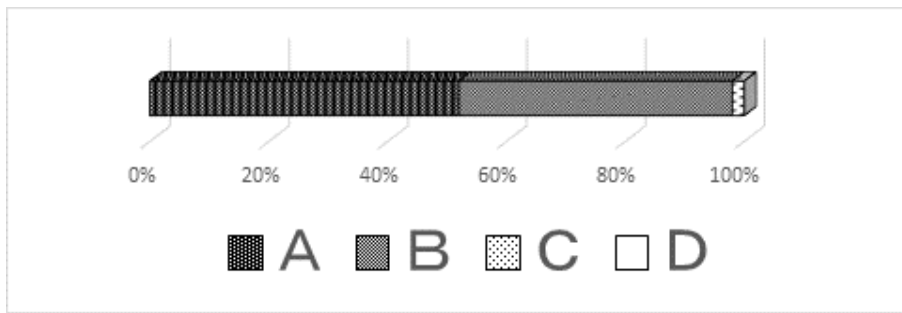
【記述内容】 ○：成果 ▲課題・改善点

- 先生達の若さが教室に溢れていて元気がある。
- 先生たちが笑顔であり、それが児童たちにも伝わっているように感じる。
- とても楽しく学校に行っている。
- 下校時など笑顔で挨拶してくれる元気な子どもたちだと思ふ。
- ▲道で自ら挨拶する子もいれば、挨拶をしても無言の子もいる。
- ▲朝の登校時、高学年の女の子は挨拶ができないのかなと思ふ。

【今後の改善点等】

- ◎1%の値ですが、お子さんに笑顔が見られないことを心配されているご家庭があります。子どもたち全員が笑顔で元気に、かつ自身の力を発揮できる学校となるよう、学習環境や生徒指導の向上と改善を図ってまいります。また、教師一人一人が各子どもの心身の状況や人間関係等を的確にとらえ、心に寄り添う指導について職員間で協議を深め実践してまいります。
- ◎児童会を中心に「挨拶運動」が実施されており、校内においては元気に挨拶をする子どもが増えてきているところです。ただし、保護者や地域の方々など外部の皆さんへの挨拶は不十分な面もあり、今後全校児童に対し指導を行うとともに、挨拶を積極的に行う姿勢を評価しながら子どもたちの意識を高めていきたいと考えています。

【設問2】児童が学ぶ楽しさを味わい、安心して通える学校である。



○評価内訳

- 【A】 62家庭 (51%)
- 【B】 56家庭 (47%)
- 【C】 2家庭 (2%)
- 【D】 0家庭 (0%)

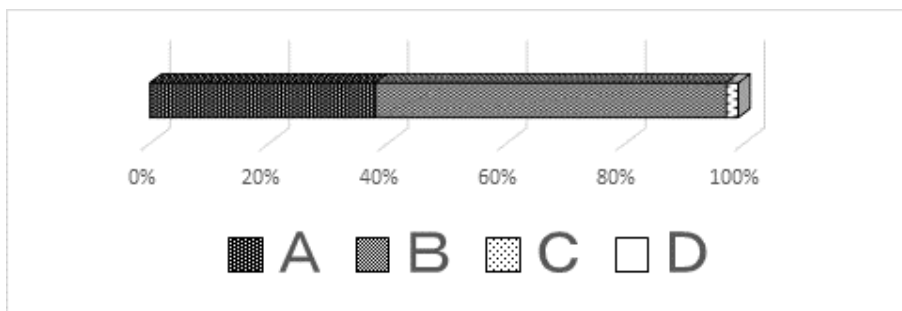
(記述内容) ○：成果 ▲課題・改善点

- 上の子は算数と外国語と体育が楽しそう。下の子は図工・体育・国語、そして自然で学ぶことが楽しいようだ。
- 周りのご自宅の方も声を掛け合い、グラウンドでの授業を見ていたりなど、地域に密着して安心である。
- 楽しく学校に行っているので安心している。

【今後の改善点等】

- 学校は「勉学に励む場」であるため、子どもが力を発揮させ学びを深めることが重要です。「楽しい授業」「わかる授業」「考える力を高める授業」を目指し研修を深めてまいります。

【設問3】児童の「学力向上」「豊かな心の育成」「たくましい心と体の育成」に向けた教育活動が展開されている。



○評価内訳

- 【A】 47家庭 (39%)
- 【B】 73家庭 (59%)
- 【C】 3家庭 (2%)
- 【D】 0家庭 (0%)

(記述内容) ○：成果 ▲課題・改善点

- 先生たちはみんな頑張っていると思う。
- ▲中学からの進学希望者はほとんどいないと思うが、対象者がいる場合には基礎学力だけでは受験が難しいので、何らかのアドバイスが必要と考える。私立中学では中学校で習う内容ができていないと対応できないと言われた。

【今後の改善点等】

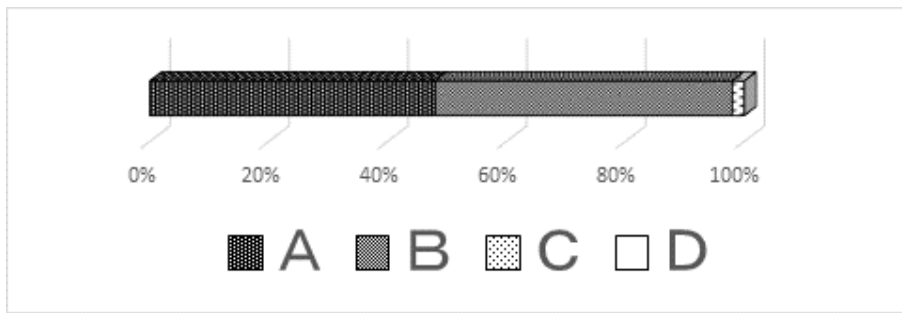
- 平成32年度新学習指導要領の全面実施を見据え、来年度の全国学力・学習状況調査より出題傾向が変わります。【始業式発行：学校便りNo.32「学校長掲載内容」をご覧ください。】

*基礎知識を問うA問題と応用力を見るB問題の区別をなくし、双方を一体的に問う形式

*平成32年度新学習指導要領の全面実施「主体的・対話的で深い学び」を受けた、基礎知識と思考力を一体的に問う問題

- これらは、今後子どもたちに身に付けなければならない力であり、今後「授業改善」「基礎内容習得と活用の連動」を最重要課題に研修を深め、日々の指導実践に努めてまいります。

【設問4】学校は、児童にとって有意義で活力ある学校行事や取組を行っている。



○評価内訳

- 【A】 58家庭（48%）
- 【B】 61家庭（50%）
- 【C】 2家庭（2%）
- 【D】 0家庭（0%）

（記述内容） ○：成果 ▲課題・改善点

○詰め込み教育の中、めいっばいの時間を使って学校行事に取り組んでくれていると思う。

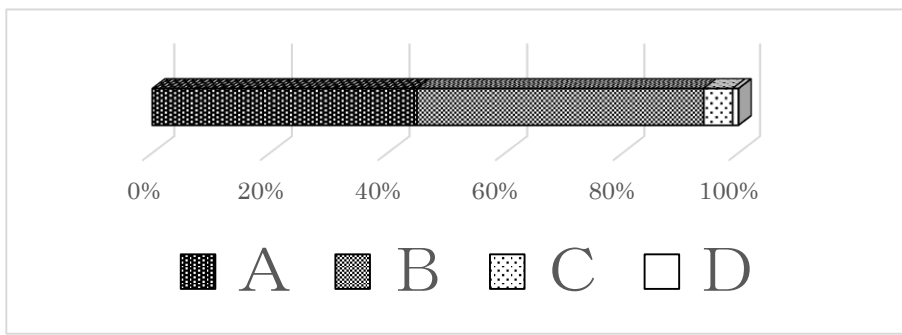
▲以前にやっていた「静小祭」をしてほしい。

▲今年度の学習発表会では、学年に応じた能力を発揮する内容だったのか疑問に思う。個に求めるものが大きかったのではないかと学習発表会は日々の取組と多少の難しさを乗り越えて、全員が同じく力を出すものだと思うが、目的が伝わってこなかった。「やりたいこと」と「全体のバランス」はどうだったのだろうか。子どもたち全員の学習発表会のはずだが。

【今後の改善点等】

- ◎教科等時数の増加により、現段階より行事時数をさらに増加させることは困難です。行事内容の質を高め、子どもたちの表現力や実践力等を大きく発揮できる計画立案と実施を行ってまいります。
- ◎学習発表会における「個への負担」「全体のバランス」について職員間で協議を図り、改善を図ってまいります。

【設問5】学校は、地域や関係機関等との連携した教育活動の推進に努めている。



○評価内訳

- 【A】 54家庭（45%）
- 【B】 64家庭（53%）
- 【C】 3家庭（2%）
- 【D】 0家庭（0%）

（記述内容） ○：成果 ▲課題・改善点

○社会科見学や職場体験などの総合的な学習の時間をよくしてくれていると思う。

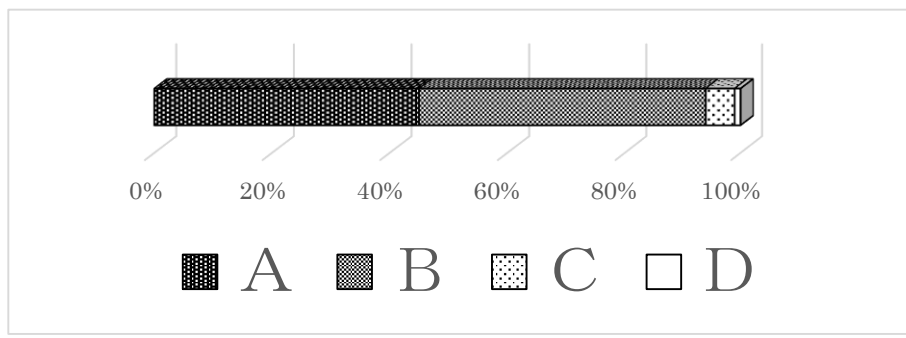
○総合的な学習の時間で老人と触れ合う機会があつてよかった。同じ年齢でない人との交流により、幅広く人を見ることができたようだ。

○外部講師を積極的に取り入れていただいていると思う。

【今後の改善点等】

- ◎今年度、全学級において人材等の積極的活用を図り、「探究活動の深化」「心の育成」「人と人とのつながりや関わりの向上」を図ることができました。今後も、子どもたちの実態及び地域からの要望、特に、本町の特色や産業等を活かした地域学習を実践してまいります。
- ◎今年度の活動で関係機関等の枠が大きく広がりました。各機関との連携を深め、今後求められる学力・心・体力等を育成する学習活動の展開に努めてまいります。

【設問6】学校は、学年や学校全体で児童の指導にあたっている。



○評価内訳

- 【A】 50家庭 (41%)
- 【B】 65家庭 (54%)
- 【C】 5家庭 (4%)
- 【D】 1家庭 (1%)

(記述内容) ○: 成果 ▲課題・改善点

○フォロー体制は整っていると思う。

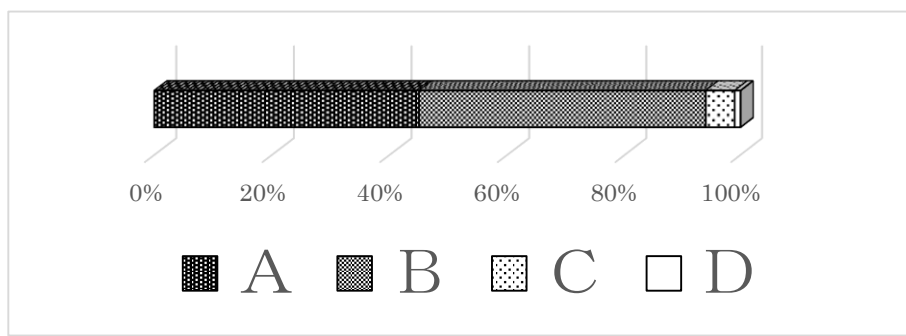
○担任だけでなく、いろいろな先生が授業に入ってくれるので、より楽しく授業を受けることができる。

【今後の改善点等】

◎先日配布しました、学校便りNo.30『いじめ等未然防止・対応の流れ』と同様、子どもたちへの生徒指導及び日常的指導は今後も組織的な取組によって行ってまいります。

◎担任一人の主観だけでなく、複数職員のとらえや判断を受けた指導を実現し、子どもたちが「認められる喜び」「自己肯定感」を実感できる環境づくりと、相互の学級指導のよさを他学級においても生かし、「自己有用感」を味わえるように努めてまいります。

【設問7】学校は、一人一人の児童の気持ちを大切に活動や対応を行っている。



○評価内訳

- 【A】 43家庭 (36%)
- 【B】 69家庭 (58%)
- 【C】 7家庭 (6%)
- 【D】 0家庭 (0%)

(記述内容) ○: 成果 ▲課題・改善点

○なるべくたくさんさんの経験を一人一人にさせてくれるように促してくれていると思う。

○一人一人性格や伝わり方が違うため、そのようなことを理解して対応していただいていると思う。

○クラスでの誕生日会や歓迎会、お別れ会。休み時間にレクリエーションをやったりして楽しかった。みんなで泣いたと聞いている。

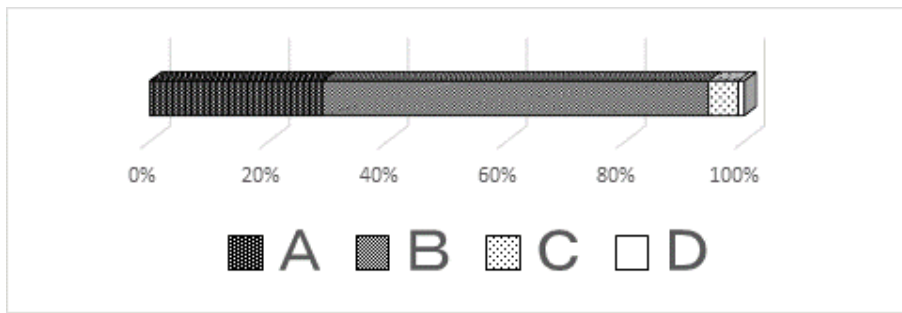
▲時々、一部の先生が子どもたちへの嫌な気持ちになる言葉を使っていると聞く。

【今後の改善点等】

◎生徒指導を行う際には「共感する姿勢」でじっくり話を聞き、「心に寄り添う指導」を行うことが重要である点について職員間で確認を行いました。

◎子どもたちの「思いやる心」「人間関係構築力」等の向上に向け、まず見本として教職員が「子どもたちを思いやる姿勢」「一人一人のよさへの評価」等の姿勢や言動を確立し、教職員の姿から学ぶことができる環境づくりに努めてまいります。

【設問 8】 学校は、いじめの防止や早期対応について適切な取組を行っている。



○評価内訳

- 【A】 32家庭 (29%)
- 【B】 72家庭 (65%)
- 【C】 5家庭 (5%)
- 【D】 1家庭 (1%)

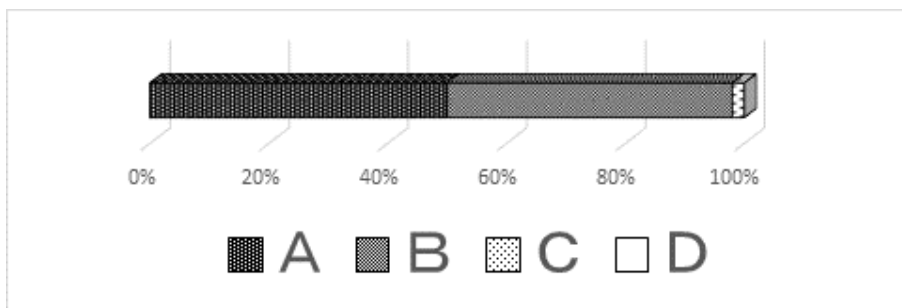
(記述内容) ○：成果 ▲課題・改善点

- いじめについては耳にしたことがないので、しっかりと防止されていると思う。
- 私が気になったことを先生に伝えたら、次の日には解決。その日のうちに対応してくれた。
- ▲取組内容が実際どのようにしているかを詳しく知りたい。
- ▲子どもたちの性格を理解し、関わってもらえると安心感がもてるのだが…。
- ▲いじめについての対応はどのようにしているのかわからないので「D」とした。
- ▲「B」と記入したが、実際に起こっていないので評価はわからない。

【今後の改善点等】

- 先日配布しました、学校便りNo.30『いじめ等未然防止・対応の流れ』に基づき、「いじめをさせない・認めない・許さない」判断力や行動力を育成してまいります。
- お子さんが友達関係やからかい等で悩んでいましたら、学校まで連絡願います。

【設問 9】 学校は、災害教育や安全教育等、危機管理に対する対応と指導に努めている。



○評価内訳

- 【A】 60家庭 (50%)
- 【B】 59家庭 (48%)
- 【C】 3家庭 (2%)
- 【D】 0家庭 (0%)

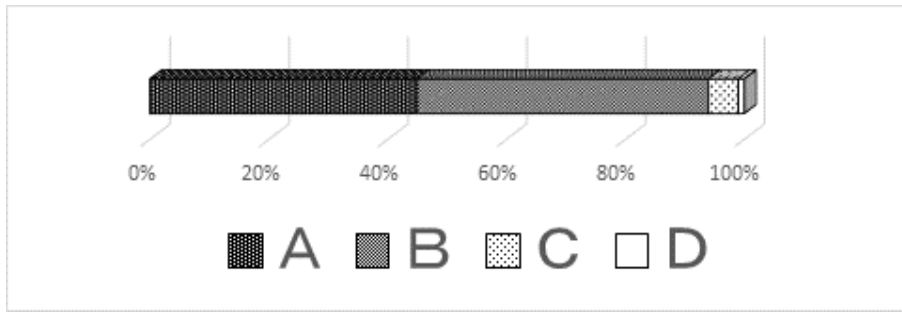
(記述内容) ○：成果 ▲課題・改善点

- マニュアル作成やメール連絡網など取り入れ、積極的に対応してくれていると思う。
- 訓練されている。子どももよく理解していた。
- 今回9月に大きな地震があり、災害教育・安全教育・危機管理の大事さがよくわかった。何かの機会があれば、希望する家庭だけでも実際にマニュアルに書かれてある「児童引き渡し場所」などに行き、どんな感じで行われるのかをやってみたらどうかと考える。
- 胆振東部地震の時、学校からの連絡がポストに入っていたりした。その後、学校で地震の時の話をしてみんなで勉強したと聞いて、とてもよい対応と指導だと思う。
- ▲町全体を見て、津波避難場所が少なすぎると思う。学校の指定避難場所にも人が殺到して混乱しそうだ。

【今後の改善点等】

- 2学期終業式に配布しました学校便りNo.31『災害教育等の危機管理の対応』をご覧ください。

【設問10】 学校は、家庭と連携を深めるように努めている。



○評価内訳

- 【A】 52家庭（45%）
- 【B】 57家庭（49%）
- 【C】 6家庭（5%）
- 【D】 1家庭（1%）

（記述内容） ○：成果 ▲課題・改善点

○年に数回ある懇談会や連絡ノート、電話などで不安や心配なことについて解決できるよう努めてくれている。

○個別に連絡してくれている。1年生の時からそう感じる。

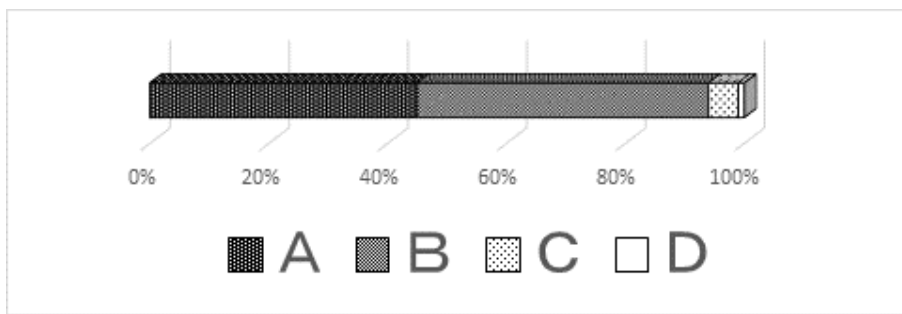
▲「連携とは？」と感じてしまうことがある。意図や目的が理解しづらいと思う。

【今後の改善点等】

- ◎「連携」という言葉のみが先行し、各家庭においてはとらえられにくい部分もあったかと考えます。PTA役員会等で協議を行い、「連携」の意味について再確認を行い、後日具体的に記載したいと考えております。
- ◎子どもたちを育成するためには、「学校・家庭・地域の連携の深化」が重要になりますし、それぞれが役割を果たし指導を行っていくことが不可欠となります。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。
- ◎お子さんについて悩まれることがありましたら、担任まで遠慮なくご連絡ください。

（☎42-1561）

【設問11】 学校は、教育方針を学校便りやホームページ、保護者会等でわかりやすく説明している。



○評価内訳

- 【A】 54家庭（45%）
- 【B】 60家庭（49%）
- 【C】 6家庭（5%）
- 【D】 1家庭（1%）

（記述内容） ○：成果 ▲課題・改善点

○学校行事の前後の案内や報告など、今後の予定なども詳しく知ることができている。

○ホームページまでは見ないが、学校便りは必ず見ているため、わかりやすく書かれていると思う。

【今後の改善点等】

- ◎今後も学校便りや学級通信等を通じて、教育方針や取組内容を具体的に知らせてまいります。

【お知らせ】

- ◎12月より、ホームページにて『年間行事予定表』をご覧いただけるようになりました。月行事については引き続き「学校だより」の欄にてご覧いただくことができます。ホームページ掲載内容でご希望がありましたら、学校までご連絡ください。（☎42-1561）

【設問外記述1】教育活動全般

(記述内容) ○：成果 ▲課題・改善点

○特に不満なことは見当たらない。

【今後の改善点等】

◎本校の教育活動に対しましてご理解とご協力をいただきご意見をありがとうございます。現段階の本校の大きな教育課題は『学力向上』『生徒指導』となっております。今回の評価結果を受けて改善を図らなければならない点は多々あり、しっかりと向き合い、組織的な改善を図ってまいります。今後も各ご家庭にお願いすることもあると思われませんが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

【設問外記述2】家庭学習定着

(記述内容) ○：成果 ▲課題・改善点

○家庭学習を毎日するようになり、校長先生や教頭先生が自らチェックしてくださり、コメントもあるので、子どもには大変励みになっていると思う。

【今後の改善点等】

◎子どもたちの家庭学習内容の質・量ともに向上してきており、チェックする職員も子どもたちの取組姿勢に日々感動しています。今後もがんばる子どもたちを全職員で支え応援していきたいと考えております。

【設問外記述3】個の理解・保護者との共有

(記述内容) ○：成果 ▲課題・改善点

▲秋の個人面談がなくなり残念に思う。

【今後の改善点等】

◎以下の趣旨の下、今年度から「秋の面談」を廃止することにいたしました。

- ①昨年度（平成29年度）における「秋の個人面談希望家庭」がほぼ無かった。
- ②日常的な連携（電話連絡・連絡帳等）を重視する。
- ③面談実施による授業時数削減を避ける。

◎お子さんについての相談等は、担任まで遠慮なくご相談ください。（☎42-1561）

【設問外記述4】掲示物・案内

(記述内容) ○：成果 ▲課題・改善点

▲行事や参観日のときに場所がわからない。例えば、家庭科室など。

【今後の改善点等】

◎記述内容から「学級レクレーション」の内容だと思われます。低学年の保護者の皆様や転入されたばかりのご家庭の方々には場所等がわかりにくい場合もあったのではないかと考えます。掲示を行います。お困りの場合は遠慮なく職員室にいる職員に声をかけられてください。

お忙しい中、アンケートにご回答いただきありがとうございました。貴重なご意見をご記入いただいた内容については、学校全体で改善を図ってまいります。

今後とも、お子さん、そして静内小学校の子どもたちのためにお力添えをいただけますようお願い申し上げます。